

みくまの

マンスリータイムズ



令和4年度 文化祭(小学部)

小学部の文化祭は、11月28日、29日に開催されました。28日は、7,8組が「すみっこぐらし～筋肉がほしいんです～」を、9,10組が「ひつじばん」を披露してくれました。7,8組は歌あり、ダンスあり、ユニークなストーリーで、みんなを楽しませてくれました。「ひつじばん」では、絵本「ひつじばん」のストーリーにそって、みんなの力を合わせて大きなひつじの顔をしたパンを作ってくれました。

翌日は1～6組（1から3年生の縦割り3チーム）の発表がありました。演目は「みくまのフレンズ～ブレーメンの音楽隊へ～」「みくまの鬼殺隊～鬼退治編～」「みくまのマリオパーティー」でした。パズルや楽器演奏、セリフなど緊張しつつも、児童一人ひとりが練習してきた成果を発揮してくれました。



令和4年度 文化祭(中学部)

中学部の文化祭は、11月30日に開催されました。3年生がナレーションを担当し、演目の案内や、舞台上でのめくりを行ってくれました。「にじのむこうに」の合奏から始まり、舞台下に楽器を並べ、保護者の方々とより近い距離で楽器を堂々と演奏してくれました。幕間では、練習した子供たちの頑張る姿を紹介しました。舞台上では、手話歌で「糸」を披露し、指や腕の動きを模倣したり、客席に笑顔を伝えたりすることができました。最後のボディーパーカッションは「Dynamite」の曲に合わせて踊り、応援してくれた保護者の方々に緞帳が下がりきるまで手を振りました。その後も続けてバザー販売を行い、窯業班で作ったお皿やオーナメント、紙工班で作ったポチ袋、木工班で作ったキーホルダー等を販売し、お客さんとのやりとりを楽しみながら、接客練習の成果を発揮することができました。



令和4年度 文化祭(高等部)

高等部の文化祭は、12月1日に開催されました。毎年恒例となりましたが、「三宅太鼓」の発表をしました。高3にとっては最後の文化祭となり、練習から気合いが入っていました。3年生の寄せ太鼓、地打ちのソロから始まり、全員で打つ、1列目から順に入っていくパート、1・2年生のみのパート、3年生のみのパートなど、心と身体に響くものとなりました。特に3年生のパートは難しい部分も滞ることなく、迫力のある音が体育館に響きました。バザーでは木工、窯業、紙工、クラフトのそれぞれの班で制作した製品を保護者対象に販売しました。次々と購入してくださり、生徒たちも会計や商品並べ、お客さんの呼び込みに頑張る姿が見られました。



小学部知的障害学級6年生修学旅行

12月1日(木)～2日(金)に三重方面へ修学旅行に行ってきました。少し肌寒い気温でしたが天候には恵まれ、両日も沢山の体験をすることができました。

まずは鳥羽駅までの電車移動。皆きちんと時間に遅れないよう乗り換えなどを済ませ景色を見ながら電車での長旅を楽しみ、1日目は鳥羽水族館に行きました。日本でも数少ないラッコやイロワケイルカ、この水族館にしかないジュゴンなど普段あまり見かけない海の生き物を見ることができました。また、セイウチふれあいタイムでは、至近距離でセイウチを見学。と思いきや、スタッフからの「セイウチの鼻水などが飛んでくるかも」というアナウンスを聞くと、皆少し離れたところにさっと移動してショーを見学していました。

2日目は、ともいきの国 伊勢忍者キングダムに行きました。忍者の衣装に着替えていざ出陣。まずは、忍者森のアドベンチャーでのアスレチック。忍者のようにスイスイと進んだり、怖がりながらも修行のように挑戦したりしながらコースをクリアしていきました。その後は、妖術屋敷で平衡感覚を利用した空間を楽しんだり、手裏剣投げや弓矢、ダーツなど忍者になるための様々な修行を体験したりしました。また、忍者キングダム内にある街人に様々な戦いを挑んだり、情報を聞き出したりするリアルRPGでは、いくつかの戦いに勝利し情報を得たもののクリアするまで行くことができなかったのもとても残念そうにしていました。ただ、それでも「また行きたいね。」「今度は〇〇ちゃん、〇〇くんも行きたいね。」等々、自分たちから発信しており、これからの楽しみの1つにもなったのではないかと思います。

あっという間の2日間でしたが、身の回りのことを自分で行き、公共のルールやマナーを守って楽しく過ごすなど、修学旅行中も立派な6年生の姿を見せてくれていました。





おでかけ音楽会

和歌山県文化振興財団の「お出かけ音楽会」事業で、バイオリン・コントラバス・ピアノのユニット、Wa・corda（ワ・コルダ）さんをお迎えしてクラシックコンサートを開催しました。前半は「花のワルツ」をかわきりに、「愛の挨拶」「ハンガリー舞曲」、そして、リクエスト曲の「さんぽ」「糸」「にじのむこうに」の演奏があり、大好きな曲で児童生徒たちも盛り上がり、後半は、「あわてんぼうのサンタクロース」「クリスマスキャロルメドレー」「チャルダッシュ」で、会場がクリスマス気分になり、みんな手拍子で演奏を盛り上げて、中には自然と口ずさんでいる子もいました。また、子どもたちを惹き付ける工夫や会話の中で、本格的な音楽を聴くことができました。